

平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月31日

上場会社名 日本フェンオール株式会社
 コード番号 6870 URL <http://www.fenwal.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理統括部長
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月4日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 井口 雅雄
 (氏名) 高田 忠夫

上場取引所 東
 TEL 03-3237-3561

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	14,469	5.7	1,107	11.1	1,136	9.6	729	6.1
25年12月期第3四半期	13,690	10.3	996	22.6	1,037	9.2	687	20.3

(注) 包括利益 26年12月期第3四半期 912百万円 (△0.1%) 25年12月期第3四半期 913百万円 (60.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	123.82	—
25年12月期第3四半期	116.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年12月期第3四半期	15,534	7,992	51.5	1,356.31
25年12月期	15,026	7,315	48.7	1,241.45

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 7,992百万円 25年12月期 7,315百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	40.00	40.00
26年12月期	—	0.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 25年12月期期末配当金には、特別配当10円が含まれております。

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,497	2.2	1,496	14.6	1,513	9.7	921	5.4	156.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期3Q	5,893,000 株	25年12月期	5,893,000 株
② 期末自己株式数	26年12月期3Q	237 株	25年12月期	237 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期3Q	5,892,763 株	25年12月期3Q	5,892,763 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、地政学的リスクの高まり、新興国・資源国経済の停滞がみられたものの、世界経済のけん引役である米国経済が、FRBの金融緩和策により、雇用、所得をはじめとし、企業収益の改善もみられたことから、景気は緩やかながらも回復してまいりました。

また、わが国経済におきましても、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要等による反動減の発生、自動車メーカーを中心とした海外生産拡大による輸出の伸び悩みはみられたものの、雇用・所得環境の改善による個人消費の増加等により企業収益も改善し、景気は緩やかながらも回復してまいりました。

このような事業環境の下、当社グループにおきましては、新たな市場を創造し更なる成長を実現するため、『スピード化』『差別化』『顧客満足度の向上』を基本方針とし、新たな市場へ向けた新製品の開発、技術力の向上、質の高いサービスの提供等に取り組んでまいりました。生産拠点である長野工場におきましても部門横断的のタスクチームを編成し、一部生産ラインの変更を実施する等、更なる生産性の向上、品質の向上、納期遵守率の向上等に取り組んでまいりました。

以上の結果、受注高は15,287百万円(前年同四半期比0.3%増)、売上高は14,469百万円(前年同四半期比5.7%増)となりました。

利益面におきましては、SSP部門における売上総利益の増加等により、営業利益は1,107百万円(前年同四半期比11.1%増)となりました。これらの影響等により、経常利益につきましては1,136百万円(前年同四半期比9.6%増)、四半期純利益につきましては、経常利益の増加及び投資有価証券売却益の計上等により729百万円(前年同四半期比6.1%増)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

SSP (Safety Security Protection) 部門

当該部門を取り巻く事業環境につきましては、政府による景気浮揚策が奏功し、公共投資が高水準で推移したほか、民間設備投資においても、企業収益の改善が下支えとなり緩やかな増加傾向となりました。

このような環境の下、得意分野であるガス消火設備や特殊防災設備を中心に積極的な営業展開を行ってまいりました。また、増加する電力等基幹産業向け防災設備工事の納期の短縮化に対応すべく全力で取り組んでまいりました。

以上の結果、受注高は5,169百万円(前年同四半期比10.3%増)、売上高は4,260百万円(前年同四半期比28.6%増)となりました。

サーマル部門

当該部門の主要取引先である半導体業界はスマートフォンやタブレット端末の需要が堅調に推移いたしました。しかしながら、当該部門の主力製品のひとつであるセンサーの売上が厳しい価格競争にさらされる等の影響により減少いたしました。一方、鉄道車輛用サーモスイッチ等、温度調節器関係の出荷は若干増加いたしました。センサーの減少分を補うまでには至りませんでした。

以上の結果、受注高は733百万円(前年同四半期比19.9%減)、売上高は729百万円(前年同四半期比13.0%減)となりました。

メディカル部門

当該部門におきましては医療機器に関する受託開発の売上高が大幅に増加したものの、主力製品のひとつである中国向け人工腎臓透析装置の生産を主要顧客が中国での現地生産に切り換えたことにより、受注高、売上高ともに前年同四半期を下回りました。

以上の結果、受注高は1,058百万円(前年同四半期比28.1%減)、売上高は1,109百万円(前年同四半期比18.2%減)となりました。

PWBA (Printed Wiring Board Assembly) 部門

プリント基板の実装と組立てが主体の当該部門におきましては、当第3四半期連結累計期間においても前第3四半期連結累計期間と比較し円安傾向であったことに加え、医療機器業界向けプリント基板の売上高が国内、海外ともに順調に推移いたしました。

以上の結果、受注高は8,326百万円(前年同四半期比1.9%増)、売上高は8,369百万円(前年同四半期比2.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は15,534百万円となり、前連結会計年度末15,026百万円に比べ507百万円(3.4%)増加しております。主な増加要因は「完成工事未収入金」611百万円(96.7%)、「長期預金」300百万円(―%)によるものであり、主な減少要因は「受取手形及び売掛金」450百万円(10.0%)によるものであります。

負債合計は7,541百万円となり、前連結会計年度末7,711百万円に比べ169百万円(2.2%)減少しております。主な増加要因は「未払法人税等」211百万円(173.1%)、「賞与引当金」148百万円(―%)、「1年内償還予定の社債」148百万円(125.3%)によるものであり、主な減少要因は「支払手形及び買掛金」730百万円(16.7%)によるものであります。

純資産合計は7,992百万円となり、前連結会計年度末7,315百万円に比べ676百万円(9.3%)増加しております。主な増加要因は四半期純利益729百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年12月期の業績予想につきましては、第3四半期における業績が概ね計画どおり推移しているため、現時点では平成26年2月12日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。しかし、今後の業績推移に応じて修正の必要性が生じた場合は、速やかに公表いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,674,521	3,815,498
受取手形及び売掛金	4,489,966	4,039,257
電子記録債権	644,812	530,078
完成工事未収入金	632,444	1,244,236
製品	453,098	256,704
仕掛品	368,971	267,015
原材料	1,522,717	1,821,298
未成工事支出金	715,946	556,691
その他	60,156	46,235
貸倒引当金	△11,543	△18,213
流動資産合計	12,551,091	12,558,803
固定資産		
有形固定資産	900,209	899,278
無形固定資産	66,106	70,581
投資その他の資産		
長期預金	—	300,000
投資有価証券	1,273,550	1,461,636
その他	261,429	286,417
貸倒引当金	△25,564	△42,547
投資その他の資産合計	1,509,414	2,005,505
固定資産合計	2,475,730	2,975,365
資産合計	15,026,821	15,534,168
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,377,404	3,646,879
工事未払金	449,946	527,384
短期借入金	1,189,702	1,164,175
1年内返済予定の長期借入金	66,668	33,335
1年内償還予定の社債	118,500	267,000
未払法人税等	121,921	333,010
賞与引当金	—	148,437
役員賞与引当金	—	16,500
工事損失引当金	2,554	—
その他	668,201	551,122
流動負債合計	6,994,898	6,687,843
固定負債		
社債	168,000	151,500
長期借入金	—	100,000
役員退職慰労引当金	66,806	75,799
退職給付引当金	429,669	387,497
資産除去債務	22,636	22,636
その他	29,258	116,480
固定負債合計	716,370	853,913
負債合計	7,711,268	7,541,757

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	996,600	996,600
資本剰余金	1,460,517	1,460,517
利益剰余金	4,390,680	4,884,620
自己株式	△145	△145
株主資本合計	6,847,652	7,341,593
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	280,747	403,359
為替換算調整勘定	187,151	247,459
その他の包括利益累計額合計	467,899	650,818
純資産合計	7,315,552	7,992,411
負債純資産合計	15,026,821	15,534,168

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	13,690,091	14,469,120
売上原価	11,224,005	11,834,690
売上総利益	2,466,085	2,634,429
販売費及び一般管理費	1,469,476	1,527,076
営業利益	996,608	1,107,352
営業外収益		
受取利息	2,894	2,059
受取配当金	17,484	18,945
受取保険金	—	9,600
為替差益	41,536	15,719
その他	2,905	2,700
営業外収益合計	64,821	49,025
営業外費用		
支払利息	16,791	12,690
社債発行費	—	5,380
保険解約損	6,238	—
その他	1,370	1,522
営業外費用合計	24,399	19,594
経常利益	1,037,030	1,136,783
特別利益		
固定資産売却益	—	407
投資有価証券売却益	29,392	27,625
特別利益合計	29,392	28,032
特別損失		
ゴルフ会員権売却損	190	—
特別損失合計	190	—
税金等調整前四半期純利益	1,066,232	1,164,815
法人税、住民税及び事業税	342,228	430,182
法人税等調整額	36,231	4,982
法人税等合計	378,459	435,165
少数株主損益調整前四半期純利益	687,772	729,650
四半期純利益	687,772	729,650

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	687,772	729,650
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	135,824	122,611
為替換算調整勘定	90,076	60,307
その他の包括利益合計	225,901	182,918
四半期包括利益	913,673	912,569
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	913,673	912,569

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	S S P 部門	サーマル 部門	メディカル 部門	P W B A 部門	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	3,312,525	838,944	1,356,370	8,182,250	13,690,091	—	13,690,091
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,312,525	838,944	1,356,370	8,182,250	13,690,091	—	13,690,091
セグメント利益	535,228	124,857	143,112	546,775	1,349,973	△353,364	996,608

(注) 1 セグメント利益の調整額△353,364千円は、全社費用であり、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

- 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	S S P 部門	サーマル 部門	メディカル 部門	P W B A 部門	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	4,260,120	729,875	1,109,949	8,369,174	14,469,120	—	14,469,120
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	4,260,120	729,875	1,109,949	8,369,174	14,469,120	—	14,469,120
セグメント利益	714,178	81,775	136,326	532,867	1,465,148	△357,795	1,107,352

(注) 1 セグメント利益の調整額△357,795千円は、全社費用であり、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

- 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。